



地域金融グループによる 「交通空白」への取組み

～ 「池田泉州エリアサポート株式会社」の設立 ～

2025年3月19日

池田泉州ホールディングス
池田泉州エリアサポート

1. 「池田泉州ホールディングス」 概要

グループの沿革

池田銀行

1951年10月 開業

泉州銀行

1951年2月 開業

池田泉州ホールディングス

2009年10月：池田泉州ホールディングス設立

池田泉州銀行

2010年5月：子銀行が合併
『池田泉州銀行』が誕生

2012年1月：システム統合完了

池田泉州ＴＴ証券

2013年9月：証券子会社設立
『池田泉州ＴＴ証券』開業

池田泉州エリアサポート

当社

2024年3月：当社設立

2024年4月：事業開始

株式会社 池田泉州ホールディングス

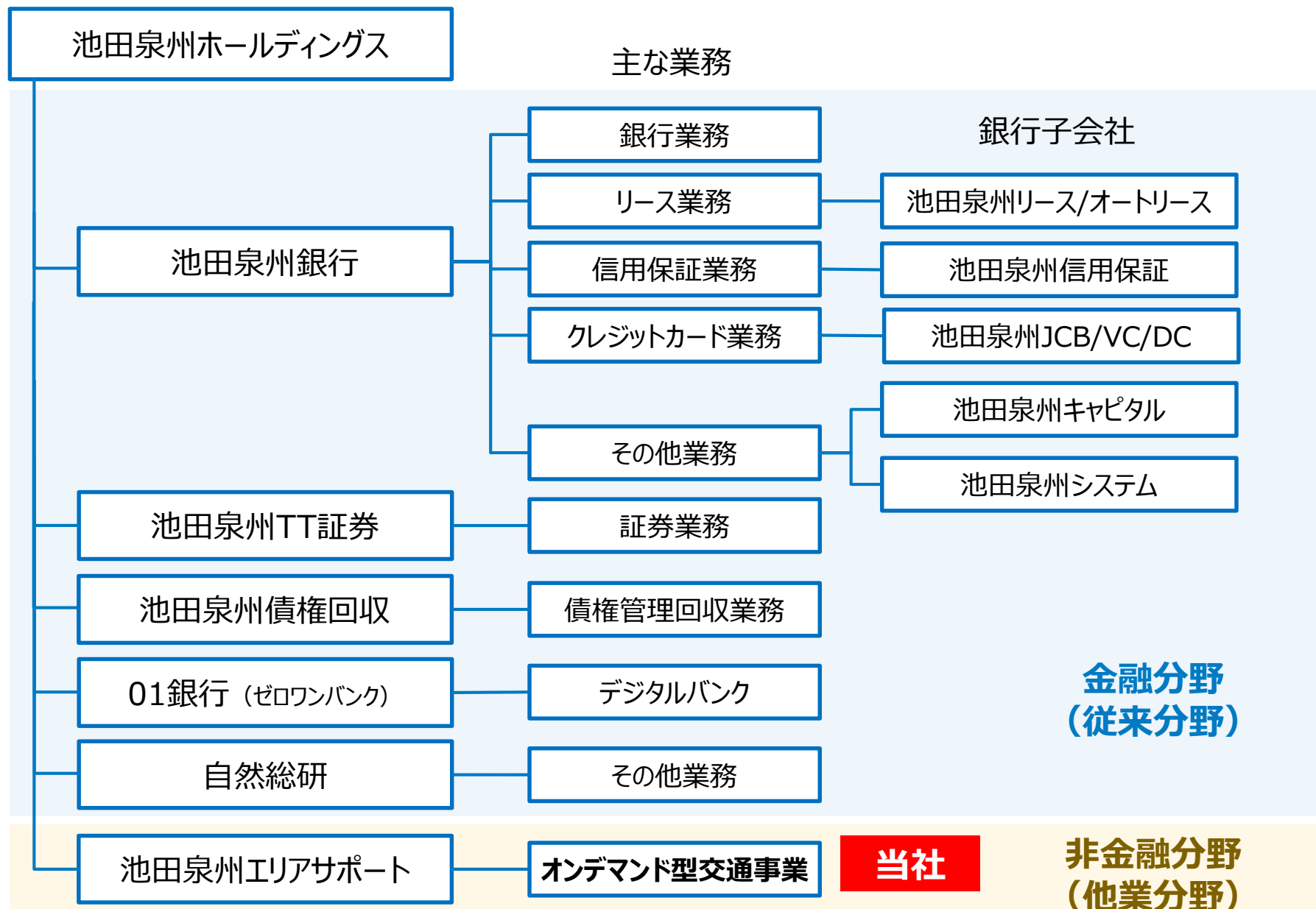
設立日	2009年10月1日
所在地	大阪府大阪市
資本金	1,029億円
グループ人員	2,363名
発行済株式数	281,008千株
自己資本比率	(連結) 12.93%

株式会社 池田泉州銀行

設立日	1951年9月1日
資本金	613億円
拠点	国内 139ヶ店 海外 駐在員事務所 (蘇州、ホーチミン)
預金残高	5兆6,178億円
貸出残高	4兆6,137億円
外部格付	JCR：A

(2024年9月末現在)

「池田泉州ホールディングス」 主なグループ事業系統図

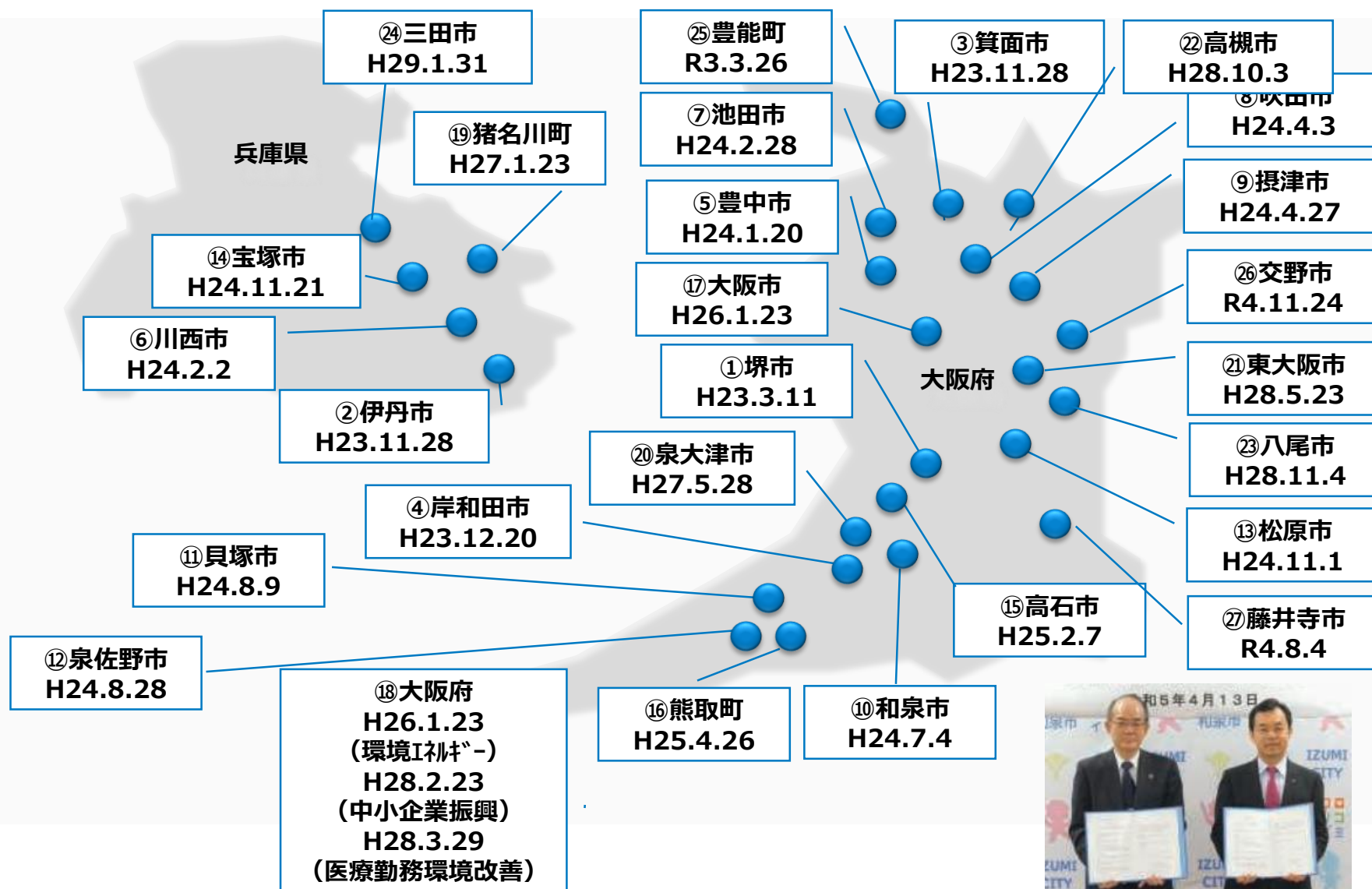


2. 「池田泉州エリアサポート」 概要

名称	池田泉州エリアサポート 株式会社（他業銀行業高度化等会社）
代表者	代表取締役社長 篠原共幸
主たる営業所の住所	大阪府大阪市北区茶屋町18番14号
主な事業内容	A. オンデマンド型交通事業（固有業務） 企画調査・実証準備／運行業務／コールセンター業務 広告業務／イベント企画業務 B. オンデマンド型交通事業（派生業務） ※将来業務 コンサルティング関連業務／その他広告業務 地域活性化イベントにおける物販
主要な株主	株式会社 池田泉州ホールディングス 100%出資
出資額	100百万円（資本金50百万円、資本準備金50百万円）
役職員数	9名（取締役3名、監査役1名、職員5名）
設立日	2024年3月13日（水）

《参考》 池田泉州銀行と地元自治体との連携協定

「自治体」との地域・産業振興協定等（27府市町）



■ 当社グループが参入を検討した経緯・背景

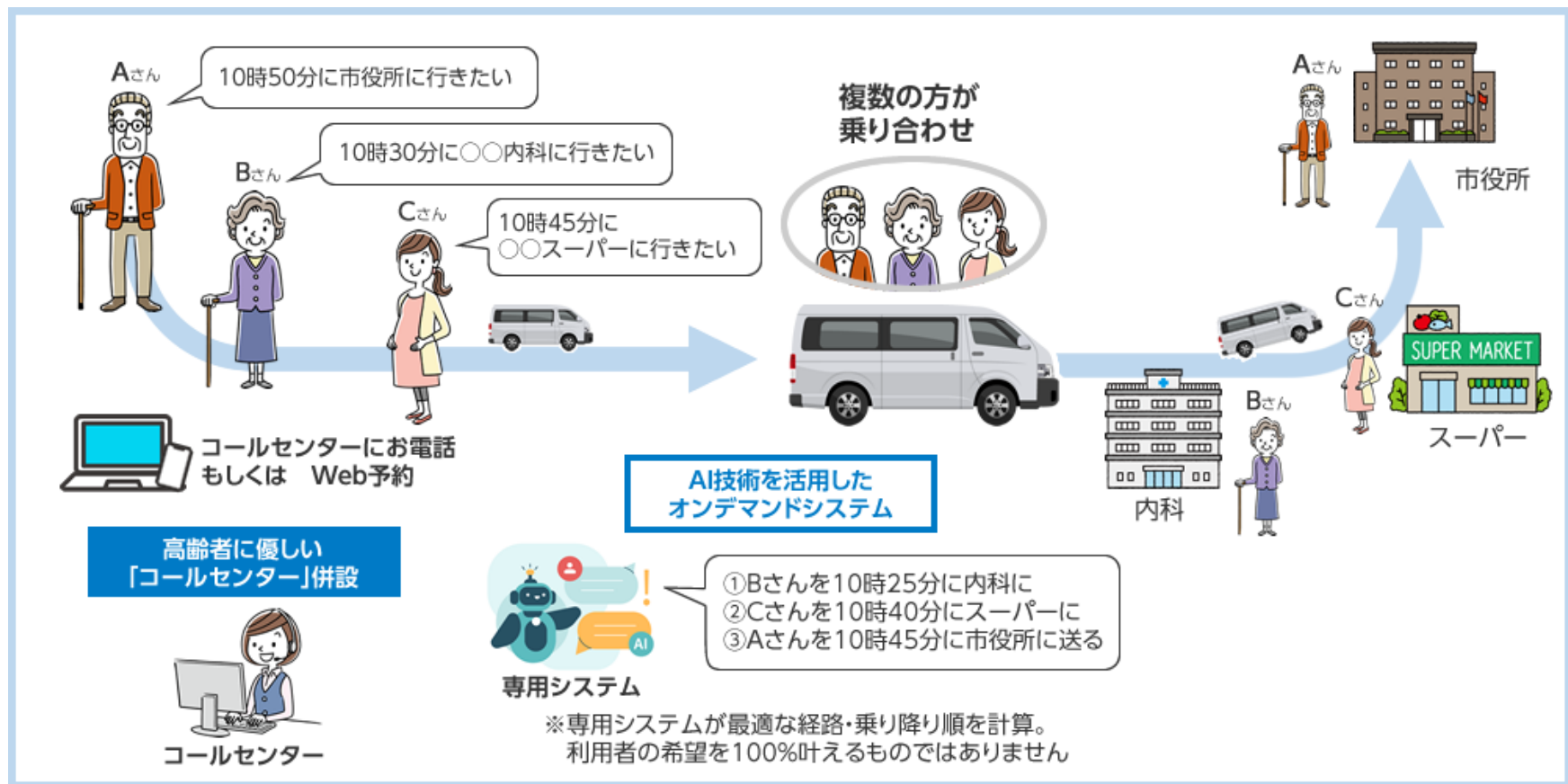
- ・ 銀行取引先より、オンデマンド型交通を担う株式会社アイシンをご紹介いただき、同社の取組みに共感したことがきっかけ。
- ・ これまで「オールドニュータウン化」する地域において、若年層の転入支援や空き家対策等を地元自治体と連携して推進してきたが、地域の高齢者の買い物や通院など交通に関する課題についても、大なり小なり悩みを持たれていることを認識。
- ・ 本課題に取り組むことで地域のお役に立ちたいという思いに至り、検討を進めた。

当社グループの 営業エリアの 現状と課題	・ 「千里ニュータウン」、「泉北ニュータウン」等、大阪のベッドタウンとして開発された大規模ニュータウンの人口減少や高齢化 ・ 子世代の独立により高齢者のみの世帯が増加 ・ 特殊詐欺増加による不安感の高まり ・ <u>免許返納問題と路線バスの縮小</u> ・ <u>買い物難民、通院難民等の拡大</u>
当社グループの 主な取組み	・ 「空き家対策」や「三世代同居近居」向けローン商品の取扱い （『空き家対策応援ローン』、『親元近居住宅ローン』等） ・ ホームセキュリティや見守りサポートの紹介 ・ 円満円滑な相続のサポート、認知症対策 （『遺言信託』、『認知症サポーター』の資格取得等） ・ 【本件】<u>お出かけ支援『オンデマンド型交通』の導入・運営支援</u>

4. 当社のオンデマンド型交通事業のポイント①②

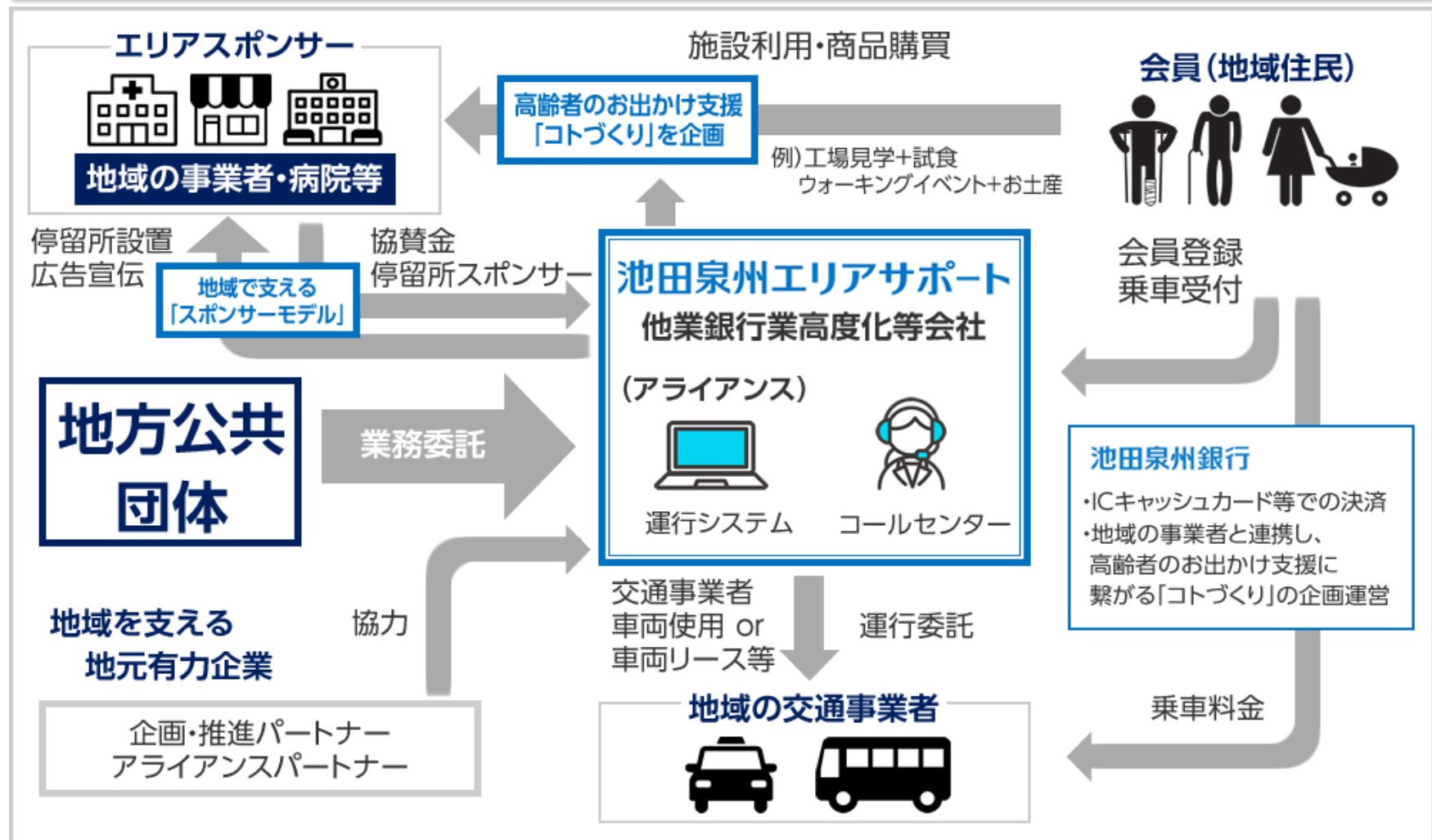
当社が取扱う乗合送迎サービスは、会員登録された利用者から乗車依頼を受け付け、最適な乗り合わせと経路を計算し、目的地まで乗り合い送迎でお運びする仕組み。

- ✓ ポイント①：カーナビ技術を活用したAIオンデマンド
- ✓ ポイント②：高齢者に優しいコールセンター設置



5. 当社のオンデマンド型交通事業のポイント③④

- ✓ ポイント③：地域で支えるスポンサーモデル
- ✓ ポイント④：高齢者のお出かけ支援に繋がる「コトづくり」



6. 「池田泉州エリアサポート」の強み

■ 地域金融グループが参入することの強み

1

地域金融グループが保有する「地域とのリレーション」（自治体・地域の交通事業者・商工団体・地域の中核企業・事業所・社協など各種団体・自治会）を活かした各種調整

⇒ **地域をあけて、オンデマンド型交通の協力体制を構築することが可能**

2

運行エリア内にある銀行店舗やネットワーク等を活かした地域住民との対話や情報発信活動（住民説明会等）、地域コミュニティの機運醸成活動

⇒ **地域に拠点を有する地元企業であり、金融機関としての信用力を活かしたきめ細やかな地域との橋渡しが可能**

3

地域の事業者との繋がりを活かした協賛体制の構築、継続運行に向けた自治体の負担軽減

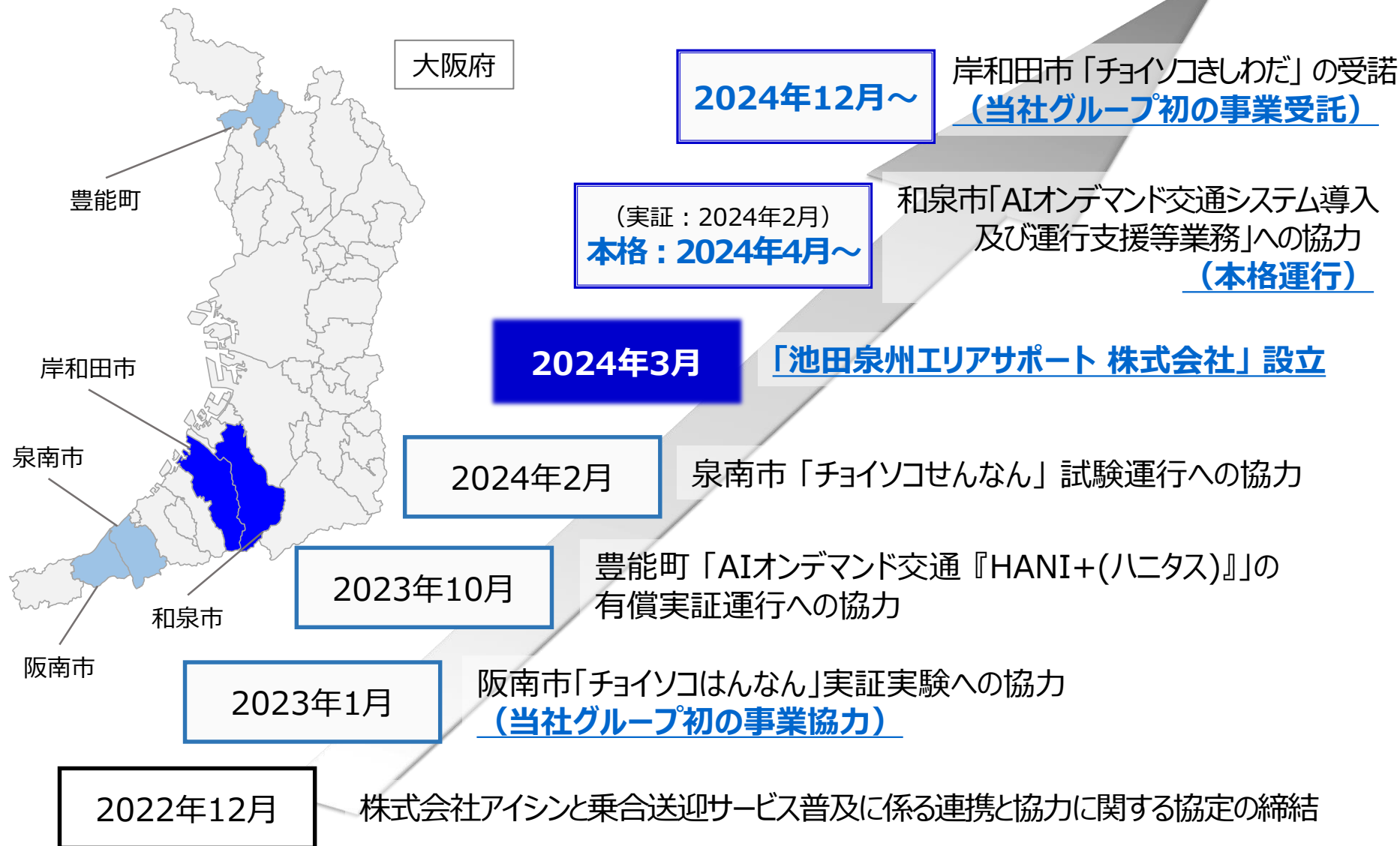
⇒ **エリアスポンサー制度の展開が可能**

4

これまで地域金融グループとして行ってきた「コトづくり」（イベント企画）の知見を活かした、高齢者の「外出促進イベント」の企画・立案

⇒ **高齢者向けのソリューションを提供し、外出を促すことで健康増進等、副次的な効果を生み出すことが可能**

■ 当社グループにおけるオンデマンド型交通の取り組み



7. 岸和田市の実証実験の概要

岸和田市実証実験について

- 岸和田市春木大芝地区において、2024年12月より実証実験を開始
- 池田泉州エリアサポートとして**初のフランチャイズモデル契約**
- 本実証における知見・ノウハウ蓄積を進め、他自治体へ展開することで事業拡大をめざす

運行概要

	運行期間・時間帯等
運行期間	<u>2024年12月2日（月）～2025年3月21日（金）</u> ※年末年始運休
運行日	平日（月曜日～金曜日）
運行時間帯	9：00～17：00（12：00～13：00は運行休止）
運行エリア	<u>春木・大芝校区</u> （エリア外の地域の総合病院に停留所設置）
料金	300円/1乗車（エリア外行きは500円）
停留所	エリア内65カ所、エリア外1カ所
運行事業者	<u>岸和田交通株式会社</u> （運行車両も同社保有のハイエース1台）



連携の概要とねらい

- **南海電気鉄道と連携し**、同日中に当オンデマンド型交通と鉄道の両方を利用した顧客に、同社が運営する『minapitaポイント』を還元。
- オンデマンド型交通と鉄道を使って「ちょっとした遠出」を促す。
- 今回の実証実験で他の交通事業者との広域的な連携の可能性を模索。今後の展開に繋げていく。



チョイソ

きしわだ

チョイソきしわだ

minapitaポイント還元キャンペーン

チョイソ×南海電鉄

「チョイソきしわだ」「南海電鉄」の利用者に
「minapitaポイント」を還元します！！



- 1 同一日に「チョイソきしわだ」「南海電鉄」の両方に乗車した方に、**50ポイントを進呈 ※1**
- 2 ポイント還元には、minapitaへの会員登録と交通系ICカード（PiTaPa/ICOCA）登録が必要です ※2
minapita会員未登録の方は、こちらから会員登録ができます 

（注意事項）

※1

- ✓ ポイント還元は、1ヶ月間（1日～末日まで）のご利用回数を集計し、翌月末日までに還元します。
- ✓ 南海電鉄への乗車は、PiTaPa、ICOCAの利用時のみ還元対象です。
- ✓ 同一日に複数回の乗車があった場合、1回のみをカウントします。

※2

- ✓ ポイント還元には、minapitaへの会員登録・交通系ICカードの登録が必要となります。
- ✓ ご本人の利用であることを確認するため、「チョイソきしわだ」「minapita」の会員登録は同じメールアドレスにて登録願います。メールアドレスが異なる場合、ポイント還元を受けることはできません。

＜お問い合わせ窓口＞

サービス全般に関するお問い合わせ 06-6376-1155 池田泉州エリアサポート
(月～金/9:00～17:00)

minapitaに関するお問い合わせ 0570-033-710 ミナピタカードなんばカウンター
(不定休/11:00～20:00)

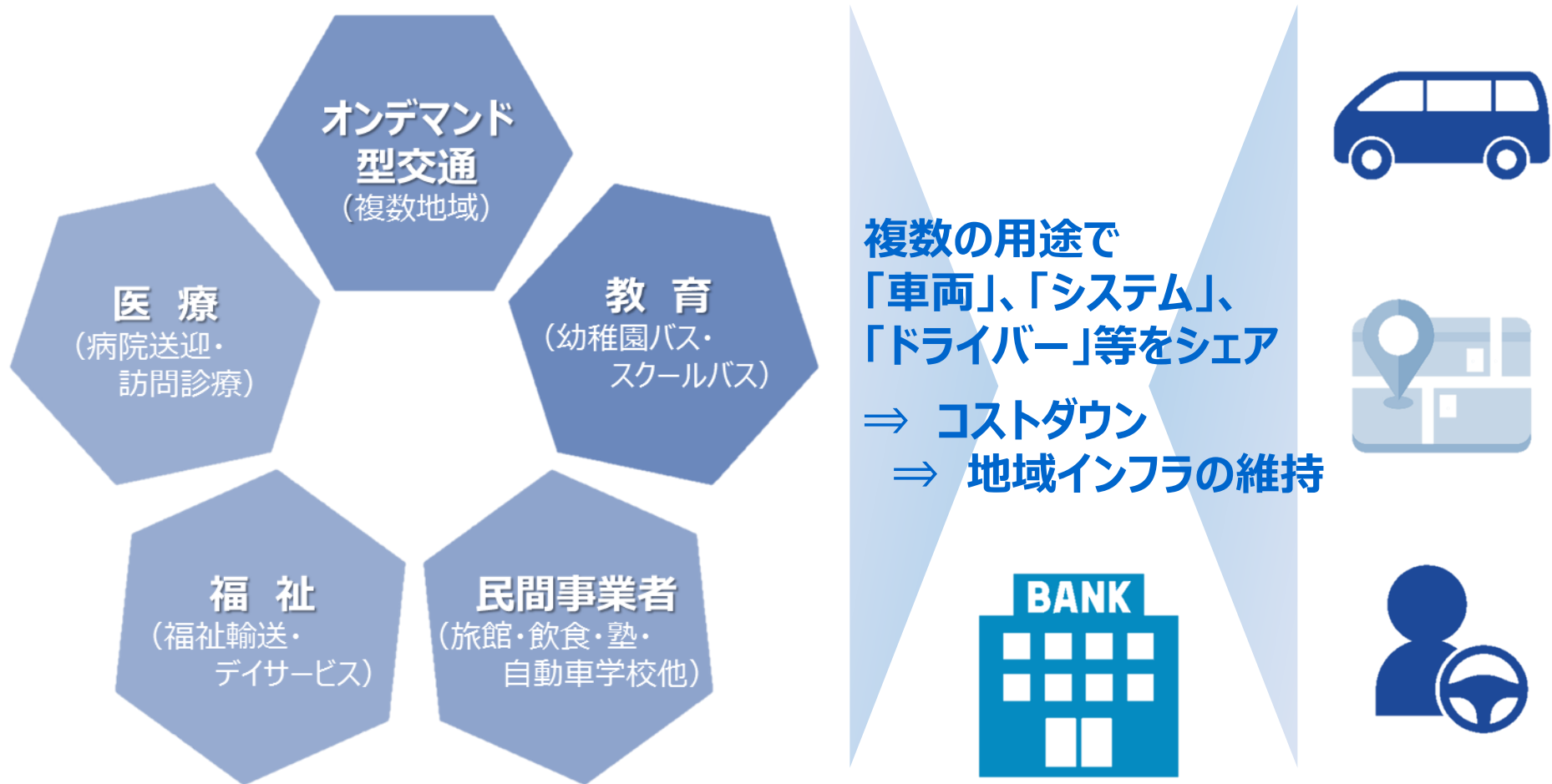
池田泉州ホールディングス



8. 地域金融グループの新たな挑戦

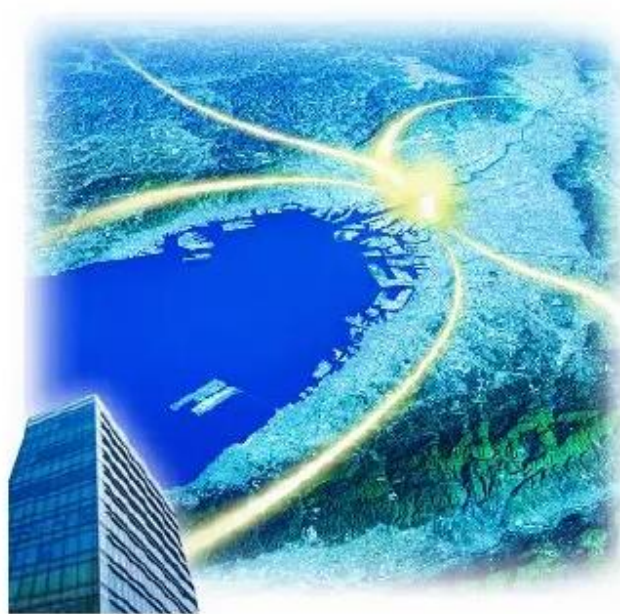
地域のステークホルダーとのリレーションという地域金融グループとしての強みを活かして、

「地域のコーディネーター」役を担っていきたい



地域のコーディネーター

ご清聴ありがとうございました。



池田泉州ホールディングス



池田泉州エリアサポート